

*** 学習の目標**

- (1) 植物の発芽から結実までの過程、動物の発生や成長などをそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、生命を尊重する態度を育てるとともに、生命の連続性についての見方や考え方を養います。
- (2) 物の溶け方、てこ及び物の動きの変化をそれらにかかわる条件に目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究したりものづくりをしたりする活動を通して、物の変化の規則性についての見方や考え方を養います。
- (3) 天気の変化や流水の様子を時間や水量、自然災害などに目を向けながら調べ、見いだした問題を計画的に追究する活動を通して、気象現象や流水の働きの変化の規則性についての見方や考え方を養います。

☆授業の工夫

- 児童が楽しみながら、主体的に計画的に学習に取り組めるように心がけたいと思います。
- そのために、自分たちで実験や観察の方法を考えたり、学習課題を選択したりする活動も取り入れていきたいと思います。また、気象に関する学習では、江波山気象館とも連携をとりながら、進めていきたいと思います。
- 実験や観察では、「条件に目を向けながら」調べることを重視していきたいと思います。

☆年間の学習計画

前 期		時間				
単 元 ・ 題 材	☆「理科の広場」 受けつがれる生命	2	▽ ヒトのたんじょう	7	7 もののとけ方	15
	1 植物の発芽と成長	11	☆ 台風と気象情報	4	▽ 電磁石のはたらき	12
			後 期			
	2 メダカのとんじょう	9				
	3 花から実へ	8	4 わたしたちの気象台	13		
	☆「理科の広場」 いろいろな花の花粉	2	6 流れる水のはたらき	10		
	☆ 自由研究 広げよう 科学の世界を	4	8 おもりをふったとき	8		
補 充 ・ 発 展						

☆評価の観点

- 【自然事象への関心・意欲・態度】**
自然事象を意欲的に追究し、生命を尊重するとともに、見いだしたきまりを生活に当てはめようとする。
- 【科学的な思考】**
自然事象の変化とその要因との関係に問題を見だし、条件に着目して計画的に追究し、量的変化や時間的变化をとらえ、問題を解決する。
- 【観察・実験の技能・表現】**
問題解決に適した方法を工夫し、装置を組み立てたり使ったりして観察、実験やものづくりを行い、その過程や結果を的確に表現する。
- 【自然事象についての知識・理解】**
生命は子孫に受け継がれて連続していることや、物の状態は与える条件によって規則的に変化すること、気象条件や流水の働きには規則性があることなどを理解している。

☆評価の方法

- ・ 普段の授業の様子 (学習態度や発表)
 - ・ ノート整理や観察・実験カード
 - ・ 宿題などの提出物
 - ・ 単元ごとのテスト
- などを総合的に評価します。